

グリーンファイナンス市場の中長期的な発展に向けて：市場参加者に期待する取組事項（概要）

2025年7月25日

1. はじめに

- ・2024 年までにグリーンファイナンスの市場規模は約 5 兆円に到達した一方で、国際的な情勢変化がみられ、市場環境の変化も相まって一巡感があるとの指摘もある
- ・このような時期だからこそ歩みを止めることなく、一層の推進に努めるため、環境省及び検討会としての市場参加者への期待を、主に中長期的な観点から整理

2. グリーンファイナンスの範囲と機能

- ・グリーンファイナンスの位置付け：国民の福祉の向上や経済社会の基盤強化に資する環境改善の実現をもたらす金融システムや金融行動全般
- ・グリーンファイナンスの実践類型：多様なアセットクラス・プロセスにおける取組、様々なレベルが存在

3. グリーンファイナンスの意義及びメリット

経済性を担保しながら事業者の脱炭素化や資源循環、自然再興への取組を資金的に支援し、ひいては国民のウェルビーイングの向上に寄与

＜経済社会システム全体にとっての意義＞

- ・気候変動緩和・適応の進展や自然資本の保全等を通じた、経営環境の安定化、持続的な成長、競争力の向上
- ・投資先や顧客の企業経営の安定化等通じた、バランスシート・ポートフォリオ上での収益安定・強化、リスク管理の強化

＜（個社レベルでみた）メリット＞

●資金調達者

事業の成長や新たなビジネス機会の獲得、環境や社会への貢献を通じた構成員のモチベーションの向上・部署間の連携強化、対外的なアピール、投資家・資金調達先の拡大等

●資金提供者

環境への悪影響の抑制を通じた投融資リスクの通減、顧客との関係強化や新規開拓、新たな収益機会の獲得、対外的なアピール等

4. 市場参加者に期待する取組事項

＜資金提供者：機関投資家、銀行、保険会社等＞

●既に取組が進んでいる主体

➤ アセットオーナー（機関投資家）

アセットオーナー・プリンシプルの関連原則を踏まえたグリーンファイナンス推進の枠組み構築やアセットマネジャーへの働きかけ

➤ 銀行・保険会社等

グリーンボンド等への投資及び国際原則に則った融資の更なる推進、環境改善効果を可視化するインパクトレポートを含めた投融資先の環境対応の適切な評価、質の高い働きかけ（エンゲージメント）等

➤ アセットマネジャー（資産運用会社）

アセットオーナーへの働きかけや対話

●取組の着手段階にある主体

グリーンファイナンスの機能及び意義、取組のメリットへの理解を深め、市場へ積極的に参加

＜資金調達者＞

●既に取組が進んでいる主体

プロジェクトの積極的な実施、グリーンファイナンスを活用した継続的な資金調達、レポートの重要性に対する理解の深化、環境改善効果の可視化の進展等

●取組の着手段階にある主体

メリットや事例に対する理解の深化、市場環境や資金需要等に応じ、政府施策や資金調達支援者による支援も活用しながら、グリーンファイナンスによる資金調達を検討

＜資金調達支援者：証券会社、第三者評価機関＞

➤ 証券会社

新たな資金需要の喚起、ニーズや課題、イノベーションの進展を的確に捉えた支援等

➤ 第三者評価機関

透明性・公平性が担保された適切で高品質な評価の提供、環境改善効果の担保等

5. 環境省としての今後の検討・取組の方向性

- ・インパクトレポートの事例集作成、地域金融機関や中堅・中小企業を巻き込んだローン市場の発展に向けた施策検討
- ・グリーンな資金使途として、グリーンプロジェクトを例示する「グリーンリスト」の更なる拡充、市場の調査・分析や市場参加者とのコミュニケーション強化、国際的な発信等